

芸術・観光・自治体交流分野への質問

	意見	区のお考え方
1	「文化縁」とは造語であるか一般的に利用する言葉であるのか。造語であるならもう少しわかりやすくした方がよいだろう。	芸術文化を契機として生まれるコミュニケーション、ネットワークを「文化縁」として名づけたものです。
2	「文化縁」というワードは、大変良い言葉だと思うが、残念ながら区民には知られていない。今回の資料においても「文化縁」という言葉が謳われている、この言葉を広める意向があるのか、それともあくまで役所内の業界用語として終わらせるものなのか、今まで2期10年にわたる芸術文化振興プランの中に書かれていたにも関わらず全く浸透していないからこそ、方針を教えてほしい。	用語を広めることは目的としていませんが、使う際には分かりやすい説明を加えるなど、工夫していきます。
3	「芸術団体間のネットワークの充実を図る」とあるが、芸術団体が本当に望んでいるのか。	ご希望やご意見を伺いながら、目黒区文化祭の実施等の他、美術館、ホール、大学、企業、団体等の連携を進めています。
4	「あらゆる区民の芸術文化活動を支援し」とあるが、実際に支援できるものなのか。「あらゆる」という言葉の意味も含めて、適切な選択をする必要があるのではないか。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
5	文化について、金沢と連携しているとあるが、金沢の文化・歴史とめぐろのそれとでは比較しようがない部分もある。一方で、区内には美術館や博物館が民間の資金が活用されながら整備されている。区内にも歴史的にゆかりのある文化人も多くいることと思う。そうした文化人と美術館・博物館を結びつけたイベントを実施することの検討があってもよいだろう。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
6	目黒区美術館、めぐろ歴史資料館、郷さくら美術館、東京都庭園美術館などの目黒区内の美術館・博物館の活用状況(観光資源としての活用を含む)と今後の展望についてどのように考えているのか。	各施設のネットワークの充実を図っていきます。
7	課題解決の方向性の中で、「芸術文化への多彩なアプローチづくり」とあるが、これには鑑賞教育なども含まれるのか。	そのとおりです。
8	「観光まちづくり」であるが、例示としては中目黒を含めた方がよい。中目黒もまちづくりを進め、「なかめスタイル」として推進しているところである。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。

	意見	区の考え方
9	スターバックスが上海店に続いた第二店舗目としてロースタリーをオープンさせた場所であるのは、文化発信するための一つの要素となるのではないかと思う。官民連携をした目黒川文化のスタートが切れるチャンスではないか。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
10	区内にも観光客が訪れることはよいことだと思うが、自由が丘についていえば昔から住んでいる人は住みにくくなったと言ひ、目黒川の桜が全国区になってから周辺住民が迷惑しているとの指摘もある。そうした居住者との共生も踏まえて観光ビジョンを進めていただけるとよいだろう。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
11	魅力ある商店街づくりが都市型の観光につながると思うので、そのような魅力ある環境を創出することができればよいかと思う。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
12	芸術文化に関して「東京2020大会を契機とした新たな事業展開」とはどのようなことか。	2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした新たな事業を検討しています。具体的なものをお示しすることはできませんが、文化プログラムもレガシーとして求められているなど、新しい事業展開が必要であるため、課題として取り上げています。
13	外国人来街者に関して「自転車シェアリング」との連携を課題としているが、同事業は実証実験段階であり、今後の政策課題として明示してよいのか。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
14	区は情報発信力が弱いと感じている。特に外国人に対する情報発信力を強化すべき。たとえばコンビニ等で働いている外国人が区のことをどれだけ知っているだろうかとの疑問がある。区がどんな資源を有しており、どんなことを考えているのか、しっかりと翻訳して伝えることが重要だろう。区内には大学も立地しているので、協力してもらいつつ、区内の情報発信力を強化してもらいたい。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
15	区の魅力とは何か、外国人が訪れる魅力があるのか検討していただきたい。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
16	多様なバックグラウンドを持った外国籍の方々が増加傾向にある昨今、彼らに長期的な目線で「目黒愛」を持ってもらうための取組を提示していく。人種ごとのコミュニティは必ずできるので、各コミュニティの壁ができる前に区の活動に参画できるような仕組みを用意しておくのはどうか。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

	意見	区の方考え方
17	<p>芸術・観光・自治体交流分野という括りに違和感がある。個別計画の概要について、「めぐろ芸術振興プラン」は芸術分野、「目黒区観光ビジョン」は観光分野と一致するが、「多文化共生推進ビジョン」と自治体交流分野が一致するように思えない。新たな政策課題や課題解決の方向性をみても、自治体交流分野が外国人との共生と対応しているようだが違和感がある。</p>	<p>行政分野別の検討資料の段階では、主に担当組織の所管事項として整理しています。今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、施策の関連性等も踏まえて、整理していきます。</p>
18	<p>芸術・文化・自治体交流分野の資料と、スポーツ振興分野の資料とでは記述のバランスが対照的にみえる。スポーツの分野は「親しむ」が多用されている一方、芸術の分野は「親しむ」という言葉がない。</p>	<p>今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。</p>
19	<p>芸術・文化・自治体交流分野の資料と、スポーツ振興分野の資料とを比較したとき、芸術とスポーツはそのまま言い換えられるような内容である。芸術の部分スポーツと置き換えても文章としてなりたち、その逆もそうである。スポーツ振興分野と、芸術・観光・自治体交流分野とがわかれている理由を教えてください。</p>	<p>行政分野別の検討資料の段階では、主に担当組織の所管事項として整理しています。今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、施策の関連性等も踏まえて、整理していきます。</p>